

山と花のたより 202号

2017年6月15日 松尾忠

メールアドレス tadashi6414@smile.ocn.ne.jp

HP <http://yama-to-hana-no-tayori.sakuraweb.com/>

「山と溪谷」に掲載された「雲間の赤岳」

右の写真は雑誌「山と溪谷」6月号に見開き2ページに掲載された私の弟（松尾治）の作品です。

題は「雲間の赤岳」で、聳え立つ赤岳（八ヶ岳）が迫力満点。手前にあるのが、弟のテントです。場所は三ツ頭山頂。撮影日は2016年4月12日。

弟はここで5連泊したとの事。



盛況だった健康まつり。登山用品バザーも好評でした

5月21日（日）にJR高田駅前東側広場と県産業会館で行われた「第30回健康まつり」は3千人の市民が参加し、体力測定、健康チェック、健康相談、献血など大賑わいでした。高田市民の「健康をまもる一大イベント」として、ますますの発展が求められていると思います。

産業会館大ホールの展示スペースでは、山歩きクラブ会員の山の写真、絵画、切り絵、折り紙、

挿し絵、盆栽・鉢植え等々、多彩な作品が観客の絶賛を浴びていました。

国民救援会が行った「登山用品バザー」にも多くの方が訪れ、相談しながら、リュックサック、登山靴、アイゼンなどをもとめていました。不要になった登山用品をご提供下さった方、又、ご購入いただいた皆さんに改めて感謝申し上げます。来年も宜しくお願い致します。



健生会友の会山歩きク「例会100回記念登山」

5月6日(土) 奈良県葛城市の「ふたかみパーク当麻道の駅」に集まったのは47名。友の会山歩きクラブの「例会100回記念登山」に参加する会員たち。

4班4コースに分かれて登り、二上山雄岳山頂で合流、記念の山登りをちらし寿司とお味噌汁を食べながら祝い、オカリナ演奏とそれに合わせての全員合唱で交流しました。



続・二上山に咲く花々 25

ブタナ(豚菜) キク科エゾコウリゾナ属

写真は澤木仁さん

昭和初めにヨーロッパから来たとされる外来植物。フランス語の「豚のサラダ」の和訳が名前の由来。

葛城市当麻の二上山登山口の傍らに鳥谷口古墳(大津皇子の墓と言われる)があります。初夏、この古墳の丘陵斜面一面にブタナが咲き誇ります。この植物の繁殖力はすさまじく、以前北海道の空港をこの花が黄色に染めているのを、空から見たことを思い出します。

タンポポ(キク科タンポポ属)に似ていますが、ブタナは茎が長く(50~60cm)、その茎に複数の花(タンポポは花茎に花ひとつ)を咲かせます。



続・二上山に咲く花々 26

ナツハゼ(夏黄櫨) ツツジ科スノキ属

写真は 澤木仁さん

尾根筋の日当たりのよい場所に自生する落葉低木。夏、ハゼの木のように赤く紅葉するのでこの名に。

5~6月頃枝先に赤みを帯びた淡黄褐色の小さい(5cm ほど)花を下向きにたくさん咲かせます。丸い鐘形の花は花弁の先が丸く反り、飾りようになって、とても可愛い。

初秋になる実は球状で黒褐色に熟し、食べられます。

